

### 豊作・不作を占う伝統行事 春日神社の卜祭

1月15日、春日神社（牛窓町長浜）で、今年  
の稲作・畑作の豊作不作を占う筒粥神事「卜祭」(市  
重要無形民俗文化財)が行われました。

大釜に米を入れ、大豆と小豆を少し入れて粥を  
炊きます。粥を炊くときに早稲、中生、晩生と書  
いた竹筒も一緒に入れ、それぞれの筒に入った粥  
の量が多ければ、竹筒に書かれた時期が豊作であ  
るとされています。

一年の豊作を願う祈年祭が行われたあと、田村  
典彦宮司が炊き上げた粥の中から竹筒を取り出  
し、開いて筒の中を確かめ、「早稲と晩生はまず  
まず、中生が豊作。畑は晩生が良い」と述べました。



竹筒を開いて粥の量を確認する田村宮司 (写真中央)

### 「カキ尽くし」の一日を満喫 邑久町漁協のかきまつり



会場には長蛇の列 (左下) / 裳掛小学校児童も参加 (右上)

1月29日、邑久町漁業協同組合の主催で、邑  
久町漁協かきまつりが同組合市場（邑久町虫明）  
で開かれました。

市内外から大勢の人が会場を訪れ、当日早朝に  
水揚げされた新鮮な殻付きカキやむき身カキなど  
を買い求めようと、長蛇の列を作りました。

裳掛小学校5、6年生の児童が総合学習の一環  
で養殖作業などを手伝ったカキも販売され、売場  
は児童の威勢のいい声に誘われたお客さんでにぎ  
わいました。また、地域おこし協力隊も参加し、  
瀬戸内市産レモンの果汁で味を整えたカキのクリ  
ームシチューを販売しました。

### 認知症と共に生きる 瀬戸内市認知症講演会

2月3日、牛窓町公民館で、瀬戸内市認知症講  
演会を開催しました。市内の愛育委員、民生委員  
など約170人が参加し、認知症について知識と  
理解を深めました。

「認知症になっても安心して暮らせるまちをつ  
くる」と題した講演では、講師の妻井令三氏が自  
らの家族を介護した経験、認知症当事者や支援者  
の声を紹介し、「認知症の人も尊厳をもった一人  
の人間。失敗しても叱らずに、残っている能力を  
生かして、本人ができることはさせる。ひとりぼ  
っちにせず、話しかけてコミュニケーションをと  
り、自然体で接してほしい。」などと述べました。



当事者から話を聞いた事例紹介 (左上) / コーモアを交えて語る講師の妻井氏 (写真右端) (右下)

cover photograph



「文化財防火デー」の1月26日、国・県・市指定重要  
文化財の建造物がある本蓮寺（牛窓町牛窓）で消防訓練  
を実施しました。寺の関係者、地域の消防団員らも参加  
し、近隣の山林で出火し本蓮寺番神堂へ類焼する危険が  
生じたとの想定で、通報、消火器による初期消火、重要  
品の持出、消火活動などの訓練を行いました。

今月の  
表紙

まちの  
話題



次期誌編集：089-22-1119

### 災害への心構えを新たに 瀬戸内市消防出初式



辞令を受ける新入団員 (左上) / 市内各地区から参加した約500人の消防団員ら (右下)

1月15日、中央公民館で、瀬戸内市消防出初  
式を行いました。新年を迎え、消防団員など約  
500人の参加者は災害に対する心構えを新たにし  
ていました。

式典では、新入団員に辞令を交付し、消防活動  
により功績のあった消防団員などに対し、表彰状  
を授与しました。福池幹夫消防団長が「いかなる  
災害にも対応すべく消防団員としての意識の高揚  
に努め、防火体制のさらなる充実強化を図り、引  
き続き地域住民の安全・安心の確保のため精進し  
ます」とあいさつ。最後は、瀬戸内市消防の発展  
を願い万歳三唱を行い式典を終了しました。

### 市の特産品を「いただきます」 市内の小中学校で給食試食会

1月24日、市内の小中学校で給食試食会を行  
いました。桑原真琴副市長、山崎宗則教育長、湯  
浅薫男地域おこし協力隊長、市議会議員らが児童・  
生徒と一緒に、給食を食べ、学校給食の意義や役  
割について理解を深めました。

市の特産品を使った献立は、児童・生徒の口に  
合うように牛窓・邑久・長船それぞれの学校給食  
調理場の栄養士が工夫を凝らしたもの。

市内で捕れた舌平目のミンチが入った瀬戸内ジ  
ャージャー麺を食べた邑久小学校6年生の児童か  
らは「辛なくて食べやすく、おいしかった」と  
感想が聞かれました。



児童と交流しながら給食を楽しむ地域おこし協力隊の湯浅薫男氏 (手前右側)